

表3 「〈共同〉のための作法や知恵」の諸原理と、その転倒した形態

	原理の詳細	原理が転倒した形態
<p>〈役割〉の原理 「担い手」としての〈生〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〈間柄〉を引き受けるものとしての〈役割〉 ・世間や世俗、時代を超えた〈役割〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・不合理な〈間柄〉の蔓延
<p>〈信頼〉の原理 人格的な〈信頼〉 人間に対する〈信頼〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な他者に対する〈信頼〉 ・集団的に共有された人間一般に対する〈信頼〉（「結束」に基づく〈信頼〉） ・人間という存在に対する〈信頼〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・不用意な「結束」、素朴な〈悪〉が流入した「結束」がもたらす暴力
<p>〈許し〉の原理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〈距離〉の“自在さ”に関わるものとしての〈許し〉 ・「共同行為」の失敗に対する〈許し〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・“媚び”へと転じた〈許し〉 ・誤謬性を忘却した過剰な制裁